

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/



JF 高松市北浜町8-25
TEL 087-825-0350
FAX 087-851-0699
JF香川漁連

ノリ着業検討会開催

香川県海苔養殖研究会(会長 森 朝征)は去る8月26日(木)から9月1日(水)にかけて平成22年度ノリ着業検討会を開催した。

本検討会は、毎年新漁期を迎えるに当たって、ノリ養殖業の安定と品質向上及び経営の合理化を目的に、ノリ養殖指導指針や酸処理剤の取扱要領並びに乾海苔共販対策等を直接生産者に周知するため、関係機関の協力のもと例年各地区で開催している。本年度も県内3地区で開催し、ノリ養殖業者・漁業関係者が出席した。



着業検討会の様子

- | | |
|----------|------------------|
| 8月26日(木) | 高松・中西讃地区
漁連会館 |
| 8月30日(月) | 東讃地区
ベッセルおおち |
| 9月1日(水) | 小豆地区
オーキドホテル |

検討会では「平成22年度ノリ養殖指導指針について」、「平成22年度酸処理剤取り扱い要領について」(事務局島課長)、「平成22年度水温・栄養塩の動向について」(県水試宮川氏)の説明が行われた。ノリ生産については、食品の安心・安全性が叫ばれている中であり、異物混入等衛生対策、酸処理剤の取り扱いについてはより一層注意する事が確認された。又、入札価格をいかに上昇させるかについては活発な議論が交わされた。

検討会終了後、(株)大森屋福岡工場次長 梶原正洋氏(高松・中西讃地区)、小浅商事(株)大阪支店

長 水島 康氏(東讃地区)、松谷海苔(株)代表取締役社長 松谷 晃氏(小豆地区)から「乾ノリの消費動向について」、「香川県産乾ノリの評価・改善点について」をテーマにそれぞれ講演があり出席者全員が熱心に聞き入っていた。また、消費需給動向・共販価格等について活発な意見交換が行われた。



大森屋福岡工場次長 梶原氏の講演

決定「香川おさかな大使」

去る9月7日(火)漁連会館5階中会議室にて、さぬき海の幸販売促進事業の一環として募集していた、香川県産の水産物をPR活動する「香川おさかな大使」の最終審査会が行われ、浜田彩加さん22歳(観音寺市出身)が選ばれた。任期は平成22年10月1日~平成23年3月31日まで。



おさかな大使 浜田彩加さん

「香川おさかな大使」には県内から8名(男性1名、女性7名)の応募があり、服部県漁連会長ら5人の審査員が面接などで審査を行った。面接ではハマチの売り込み方とか、魚に対する思いなどの質問をし、積極性や豊かな表現力等について選考。「香川おさかな大使」に選ばれた浜田さんは「県魚についてしっかり勉強し、香川のおいしい魚を、多くの人に知ってもらえるように努力したい。」と抱負を述べていた。



挨拶する服部会長

また、同日午後から開催された、さぬき海の幸販売促進協議会第1回会議では、会の会長には服部県漁連会長、副会長には嶋野かん水組合長、監事には井上信漁連専務、岡田女性部会長が選任された。

事務局体制では事務局長に県漁連山本総務部長、事務局次長には県水産課川西課長補佐が選任された。34人のスタッフは、「総務・食育グループ」、「ハマチグループ(フグ・タイ・タコなど含む)」、「ノリ・イリコグループ」に振り分けられた。

また、本年度のグループ別活動では、「総務・食育グループ」は県魚指定15周年記念イベント等事業、「ハマチグループ」はハマチ等ブランド化事業、「ノリ・イリコグループ」は香川ノリPR事業等が計画されている。

たかまつ市場フェスタのご案内

主催 高松市

- ・ 日時 10月24日(日)
午前9時30分～午後3時
 - ・ 場所 高松市中央卸売市場(水産物棟、加工水産棟、関連商品売場棟、管理棟)
 - ・ イベント概要
- ① オープニングセレモニー 9:30
- ② 模擬せり『活気溢れるせりの模様を模擬体験!』

1回目(水産、青果、花き部)

9:45～10:30

2回目(水産、青果部)

11:15～11:45

3回目(水産)

12:45～13:00

4回目(水産、青果、花き部)

14:15～15:00

- ③ マグロ解体ショー『マグロを解体実演し、切り身は格安で即売!』

1回目 10:30～11:15

2回目 12:00～12:45

3回目 13:15～14:00

- ④ 魚のつかみ取り※参加無料

募集人員1回50人(抽選)

受付1回目 9:30～開催1回目 10:00

2回目 11:00～" 2回目 11:30

3回目 12:30～" 3回目 13:00

- ⑤ 高松市消費者団体協議会講演会

13:00～14:30

テーマ『もっと元気になる食生活』

親子で食育・花育講座

下記講座はすべて事前の申し込みが必要です。

申込方法 参加を希望する方全員の、住所、氏名、年齢、電話番号をご記入のうえ、郵便はがきもしくは、FAXにて申込下さい。申込多数の場合は抽選となります。

宛先 〒760-0015 高松市瀬戸内町30-5

高松市中央卸売市場運営協議会

FAX 087-862-3417

締切 平成22年10月11日(月)必着

対象 小中学生ならびにその保護者で、高松市在住もしくは通勤・通学される方

- ⑥ 魚のさばき方教室『魚のさばき方を直接講習。

さばいた魚は各自持ち帰りOK!』

募集人員 1回40人(親子20組)

1回目 10:00～10:30

2回目 11:00～11:30

3回目 12:00～12:30

- ⑦ フラワーアレンジメント教室『フラワーアレンジメントの技術を直接講習。出来上がった作品は各自持ち帰り』募集人員1回当たり30人

(親子15組)

1回目 10:30～11:30

2回目 13:15～14:15

- ⑧ 野菜教室 募集人員1回40人(親子20組)

1回目 9:30～10:30

2回目 10:00～12:00

ライフジャケット着用推進講習会開催

去る9月7日、丸亀市漁協にてライフジャケット着用推進講習会が開催された。坂出海上保安署田川次長からライフジャケットの着用についての説明があり、参加者は熱心に耳を傾けていた。その後ライフジャケットについて漁業者自身はどう思っているのか、という議題で活発に意見交換がなされた。



濱田組合長挨拶

その後場所を同市御供所港に移動し、着水実験を行った。実際に飛び込んだ意見として、各種ライフジャケットを装着していれば、何をしなくても浮いていることができた。さらに、膨張式のライフジャケットは仕事中に嵩張ることがあまりないほどコンパクトにまとめられている。



実演の様子(合羽着用)

一方、合羽・長靴のみでライフジャケットを装着していなかった場合、落水した瞬間は合羽に空気が入り浮力が確保されたが、その直後合羽内に海水が流れ込んでいきなり浮力を失った。水が入り込んだ後は手足を使って泳がないと水面に顔を出せないほどになり、合羽が体に密着しかなり泳ぎにくいと感じた。泳いでもなかなか思うように前に進むことができなかつた。また、長靴も水が入るため泳ぎにくい一つの要因になり、脱げるのであれば脱いだ方が



講習会終了後の記念撮影

いいそうだ。脱いだ長靴に空気を溜めただけでも、かなりの浮力が確保された。船上にいる人が落水した人を見つけたら、まず救命浮環を投げるのが一般的だが、近くにない場合ペットボトルやクーラーボックスのような浮力のあるものを投げて渡すのも効果的である。2Lのペットボトルなら男一人浮かんでいることができる。そして落水して一番大変だったのは岸に上るときである。合羽内に海水が入っていることで、海面から上がるときかなり重くなっていた。これでは漁船から落水した際、船によじ登るのは不可能に近い。訓練している坂出海上保安署の久保氏が合羽を身に着けて行った際も、船上には上がれなかった。

このことから、落水したときは誰かに助けを呼び助けてもらうということが大切である。1つの船に2人以上が乗船している場合はすぐに助けることができるが、1人ではすぐに助けが来ない場合も多い。そんな時、ライフジャケットがあれば助けが来るまで体力を使わず浮いていることができる。その結果、落水した際の生存率が高くなる。とはいうものの、ライフジャケットは嵩張るから邪魔になると言っただけがらない人も多いはずだ。しかし先ほど言ったとおり、ライフジャケットも漁業者に使っただけの日々改良されてコンパクト化してきている。ライフジャケットを着ていれば助かったかもしれない、という事故が起こらないためにも、漁に出るときはライフジャケットを着用していただきたい。

主な行事予定(10/1~10/31)

- 10月 1日(金)漁協女性部リーダー事務局担当者合同研修会
- 18日(月)さぬき海の幸販売促進協議会第2回会議



こんにちは、坂出税関です

「薬物及び銃器取締強化期間」に伴うご協力をお願い

近年、国民生活の身近なところで薬物問題が頻発し、テレビ、新聞等で取りざたされています。国内で摘発される不正薬物や銃器の大半は海外からの密輸品であり、今年7月には岡山空港において、スーツケースに隠匿して覚せい剤約3kgを密輸入しようとしたアメリカ人男性の旅客が摘発されました。

また、四国内においても昨年3月、高知県室戸市椎名漁港において覚せい剤約120kg及び昨年12月、愛媛県松山空港において、覚せい剤原料約3kgが摘発されるなど、香川県も決して安全とは言えない状況にあります。



高知県室戸市椎名漁港で告発された覚せい剤約120kg



愛媛県松山空港で摘発された覚せい剤原料約3kg



このような中、神戸税関坂出税関支署としては、本年10月の1カ月間を「薬物及び銃器取締強化期間」として、社会悪物品の摘発及び防圧のため、関係取締機関との連携をより一層密にし、水際の取締強化に努めておりますので、本取組みについて皆様方のご理解とご協力をお願いします。

皆様方におかれましては、日常業務等において、「何かおかしいな？」と思う事例がありましたら、坂出税関支署、又は最寄りの税関出張所、若しくは24時間対応の密輸フリーダイヤル(0120-461-961)まで通報していただきますようご協力をお願いします。

税関ホームページ <http://www.customs.go.jp>

密輸フリーダイヤル 0120-461-961 (24時間365日受付)

【坂出税関支署】 0877-44-9211 坂出市入船町1-6-10

【高松出張所】 087-851-2874 高松市朝日町4-3-8

【丸亀出張所】 0877-23-7696 丸亀市蓬萊町32-1

【詫間出張所】 0875-83-3071 三豊市詫間町詫間1328-9